

時の創造者たち

フロレンティン・アリオスト・ジョーンズ、エルンスト・ヤコブ・ホームバーガー、ギュンター・ブルムライン、そしてジョージ・カーン。IWCの歴史の中で、それぞれの時代に、このシャフハウゼンにある時計マニファクチュールの発展に大きな貢献を果たした4人の人物が存在しました。

フロレンティン・アリオスト・ジョーンズ

1868年、27歳の時計師フロレンティン・アリオスト・ジョーンズは米国ボストンからスイスへと渡り、シャフハウゼンの地にインターナショナル・ウォッチ・カンパニーを設立しました。ボストンではE. ハワード・ウォッチ&クロック・カンパニーに勤めていたジョーンズは、そこで学んだ米国時計産業の先進的な製造方法と、スイスの時計師たちが持つ優れた職人技や豊富な経験とを統合し、米国市場向けに高品質な懐中時計用ムーブメントを製造することを目指したのです。製造に必要なインフラストラクチャーを短期間で準備し、時計師たちが各々自宅で時計を製造するのが当たり前だった時代に、実に年間1万個以上のムーブメントを製造できる能力を確保しました。工業化の足跡はF. A. ジョーンズ・キャリバーにも見受けられます。その一例が3/4輪列受です。米国で普及していたこの形状を採用することにより、輪列受の製造工程が簡易化され、結果、費用を抑えることができました。時代の一歩も二歩も先を行くジョーンズのアイデアは、しかし、生産量の急激な拡大や賃金の上昇、輸入税などの様々な問題に遭遇し、収益性におけるすべての目標をクリアすることはできませんでした。株主の期待に応えることができなかったジョーンズは1875年12月、米国への帰国を余儀なくされ、1880年には、シャフハウゼンで工場を経営していたヨハネス・ラウシェンバッハ・フォーゲルがIWCを引き継ぎます。米国からスイスへ初めて近代的な製造技術を持ち込んで成功に導いたF. A. ジョーンズ当人は、その後も時計業界に復帰することはなく、1916年10月18日にボストン近郊でその人生に幕を下ろします。しかし、ジョーンズがシャフハウゼンに残した「遺産」は成長を続け、彼が亡くなる2年前には、IWCの年間生産個数が2万5,000個にも達するのです。

エルンスト・ヤコブ・ホームバーガー

前任者、ヨハネス・ラウシェンバッハ・シェンクの死を受け、1905年にエルンスト・ヤコブ・ホームバーガーがIWCの社長に就任します。ホームバーガーはラウシェンバッハ家の末娘と結婚し、同家の一員となった人物です。当時は彼の義兄に当

たる有名な精神科医、カール・グスタフ・ユングも経営に携わっていました。しかし、1929年にホームバーガーがユングの持ち株を取得し、IWCの単独所有者となります。非常に保守的な経営者であったホームバーガーは、1930年代の世界恐慌をも乗り越え、IWCを成功へと導きます。飛行に魅せられた2人の息子、ハンス・エルンストとルドルフにインスピレーションを受け、1936年、ホームバーガーは「スペシャル・パイロット・ウォッチ」を発表し、「パイロット・ウォッチ」という、今日までIWCに受け継がれる伝統の基礎を築きます。ホームバーガーの時代には、1939年に初代「ポルトギーゼ」も登場しています。経営者として先見の明もあり、1944年には、技術的な課題や製造工程のスペシャリストとして高い評価を受けていたアルバート・ペラトンをIWCの技術責任者に抜擢しました。そうして1955年、初代「インヂュニア」が発表されます。磁場からムーブメントをしっかりと守る軟鉄製インナーケースや、ローターがどちらの方向に回転しても主ゼンマイを巻き上げる非常に効率的な新技術、ペラトン自動巻き機構を搭載していました。その同じ年、エルンスト・ヤコブ・ホームバーガーが死去したのを受け、息子であるハンス・エルンスト・ホームバーガーがIWCの経営を引き継ぎ、IWC最後の個人オーナーとなります。

ギュンター・ブルムライン

低価格の日本製クォーツ時計が市場を席卷し、スイス時計産業はその大多数が大きな打撃を受けていました。そういった状況の中、1978年、ドイツの計器メーカー、VDOアドルフ・シンドリング株式会社がIWCの新オーナーとなり、経営者としてギュンター・ブルムラインが迎えられます。大学で工学を修めたブルムラインは、マーケティングについても豊富な経験を有していました。IWCの歴史や伝統に焦点を当てた戦略を推し進め、高品質の機械式時計の復活を牽引します。クルト・クラウスがかの有名な永久カレンダーを開発したのもこの時代で、1985年に「ダ・ヴィンチ」モデルとしてデビューを果たします。1990年には「グランド・コンプリケーション」がこれに続き、ドミニク・ルノーとジュリオ・パピの手によるミニッツ・

リピーターなどを搭載したこのモデルで、IWCはオート・オルロジュリー（高級複雑時計製造）の頂点を極めます。1993年には創立125周年を記念し、これまでにIWCが製造した中で最も複雑な時計、「イル・デストリエロ・スカフージャ」が登場します。ブルムラインは自社製ムーブメントの設計開発にも力を注ぎ、ペラトン自動巻き機構を搭載した7日間パワーリザーブのキャリバー50000シリーズなどが生まれています。IWCが誇る独自の素材技術の基礎が築かれたのもこの時代で、1980年には、「IWC ポルシェ・デザイン・チタニウム・クロノグラフ」が発表され、世界初、チタニウム製ケースを備えた腕時計が誕生しました。また、1986年にはケース素材に初めてブラックセラミック（酸化ジルコニウム）を採用したモデル、「ダ・ヴィンチ・パーペチュアル・カレンダー」も登場します。2000年2月、IWCはジャガー・ルクルト、A.ラング&ゾーネと共にリシュモン・グループの一員となり、ブルムラインにとっても新たな役割が待ち受けていました。しかし突然の病に倒れ、短い闘病生活の後、2001年に58歳という若さで帰らぬ人となってしまいます。

ジョージ・カーン

2000年にリシュモン・グループに加わったジョージ・カーンは、2002年、弱冠36歳にしてIWCの経営を担うことになり、グループ最年少のCEOが誕生します。彼の指揮のもと、かつては主にヨーロッパで一部の人のみに知られるメーカーであったIWCは、世界的な高級ブランドへと成長します。まずは製品ラインナップを整理し、「パイロット・ウォッチ」、「ポルトギーゼ」、「ポートフィノ」、「インチュニア」、「アクアタイマー」、「ダ・ヴィンチ」という6つの各コレクションに明確な位置付けを行いました。単なる時計メーカーからモダンな高級ブランドへと、IWCの変革に挑んだジョージ・カーンは、ブランドイメージを構築するストーリーテリングやこれに対応するブランド経験を持つ重要性に早くから着目していました。多様なコンテンツで様々なターゲット層にブランドの魅力を訴えるという戦略で成功を収めます。それぞれのコレクションの本質に目を向け、系統的かつ感情の込められたストーリーを構築したのです。例えば、空を飛ぶという人類の果てなき夢と「パイロット・ウォッチ」コレクションに繋がりを見出し、カーンの主導によりフランスの作家、アントワーヌ・ド・サンテグジュペリの権利継承者たちとのパートナーシップが生まれました。サンテグジュペリの有名な作品『星の王子さま』をモチーフにした特別モデルは、そのミッドナイトブルーの文字盤で、たちまちIWCを代表するシリーズの一つとなりました。他にも、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団やチャールズ・ダーウィン財団、クスター財団とのパートナーシップや、有名な各国映画祭への支援を通じて、「ストーリー」を前面に押し出したアプローチを一貫して追求したのです。スイスのジュネーブで開催

される国際高級時計見本市（SIHH）でも、毎年各コレクションの世界観を華々しく表現しています。カーンの指揮のもと、IWC直営のブティックが各地でオープンし、販売店を結ぶネットワークも広がりました。その実現において大きな貢献を果たしたのが、インテリア設計も手掛けるデザイナー、クリストフ・グランジェ・ヘアで、彼が2017年からジョージ・カーンの後任としてIWCのCEOを務めています。

IWCシャフハウゼン

スイスの時計メーカー、IWCシャフハウゼンは1868年の創業以来、永遠の価値をもつ時計を製造し続けています。技術革新と創意工夫に情熱を傾け、世界的な名声を確立するに至りました。そして、世界をリードする高級時計ブランドとして、究極の精度と独創的なデザインを融合させ、高級時計製造のマニュファクチュールならではの傑作を世に送り出しています。IWCは環境と社会に対する責任を果たす企業として、持続可能な製造の実践、子供たちや若者を対象とする活動に取り組む世界各国の組織の支援、そして環境保護を専門とする団体との提携を行なっています。

DOWNLOADS

ジュブリーコレクションの新モデルの画像は、
press.iwc.com からダウンロードをしていただけます。

FURTHER INFORMATION

IWC Schaffhausen
Department Public Relations
E-Mail press-iwc@iwc.com
Internet press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Web iwc.com/ja
Facebook facebook.com/IWCWatches
YouTube youtube.com/iwcwatches
Twitter twitter.com/iwc
LinkedIn [linkedin.com/company/
iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)
Instagram instagram.com/iwcwatches
Pinterest pinterest.com/iwcwatches
Blog iwcblog.com